



たくさんのご寄附 ありがとうございます!

2024年
1月

市では、皆様から頂いた寄附金や寄贈品を、市政発展のため様々な事業に活用しています。これからも魅力ある旭川のまちづくりに努めてまいりますので、温かいご支援をお願いします。

市に対する10万円以上の寄附または寄贈に伴う感謝状贈呈式を行い、報道発表を了承された団体を掲載。
※寄贈は相当額。

各種基金
の詳細は
こちら



旭川家具工業協同組合 様
320,000円(総合庁舎の市長室、レストラン等へ壁掛け時計11台)



(有)煙筒の横山 様
100,000円(環境基金)



東京海上日動火災保険(株) 様
旭川市内トップクオリティ代理店(5社) 様
589,600円(子ども基金)

ASAHIKAWA 100 PRIDE アサヒカワ 100 プライド Vol.11

逸品編

容器

竹本容器(株)
ジェイ・プラ
事業所

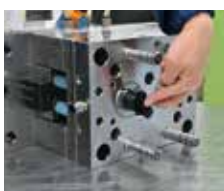


開閉方法や色、形状など様々な種類があるキャップ

容器の底にある、自社で生産したことを示すロゴ



工場では、検査員が品質をチェック



樹脂を流し、金型でキャップを成形



迅速な開発の大切さを語る事業所長の高殿健一郎さん

ASAHIKAWA 100 PRIDE とは？

市制が施行されてから100年超の歴史を持つ旭川市。大正から令和にかけ、地域資源を生かし、様々な産業が発展してきました。このコーナーでは、その中から「旭川発！全国・世界」へ羽ばたいている逸品をご紹介します

「環境」に挑み、世界の文化に貢献

店頭に並ぶ化粧品や家事用品。その容器をよく見ると、多様さに驚かされます。チューブ状やスプレー式といった形状や色、質感…。目移りしてしまうほどです。

業界大手の竹本容器(株)は、2万通りの組み合わせがあるラインナップを用意し、顧客のコストと開発期間を圧縮できるのが強みです。生産拠点の1つがジェイ・プラ事業所(工業団地4の3)で、化粧品の容器を中心に樹脂製キャップを1日10万個生産。一部は海外でも使われています。小型のキャップなら輸送費を抑えられ、リスク分散もできるとして平成9年に旭川に進出しました。

近年は環境への配慮が重視され、植物由来のバイオマス素材を使う場面が増加。米由来のプラスチックやブドウの搾りかすなど、農業が盛んな旭川の作物を活用できないか、実験や模索も続きます。事業所長の高殿健一郎たかどの けんいちろうさんは「様々なニーズに応じ、世界の器文化に貢献していきたい」と挑戦への意欲を語ります。